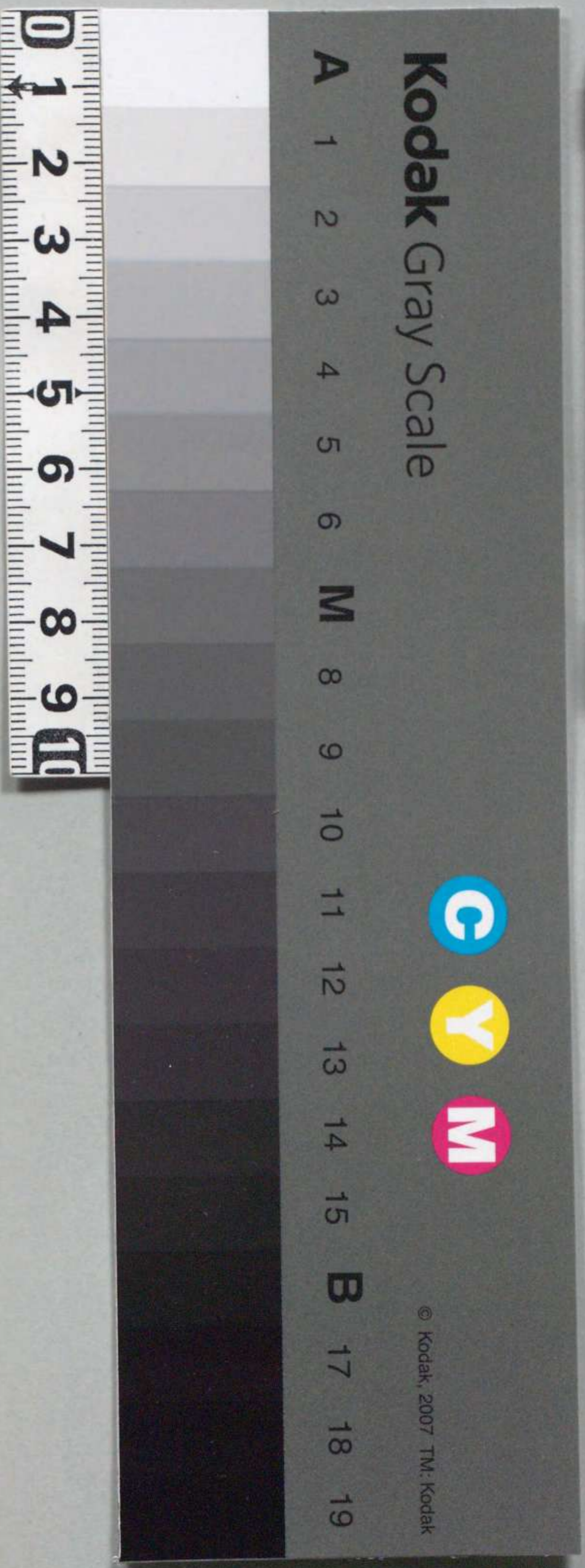
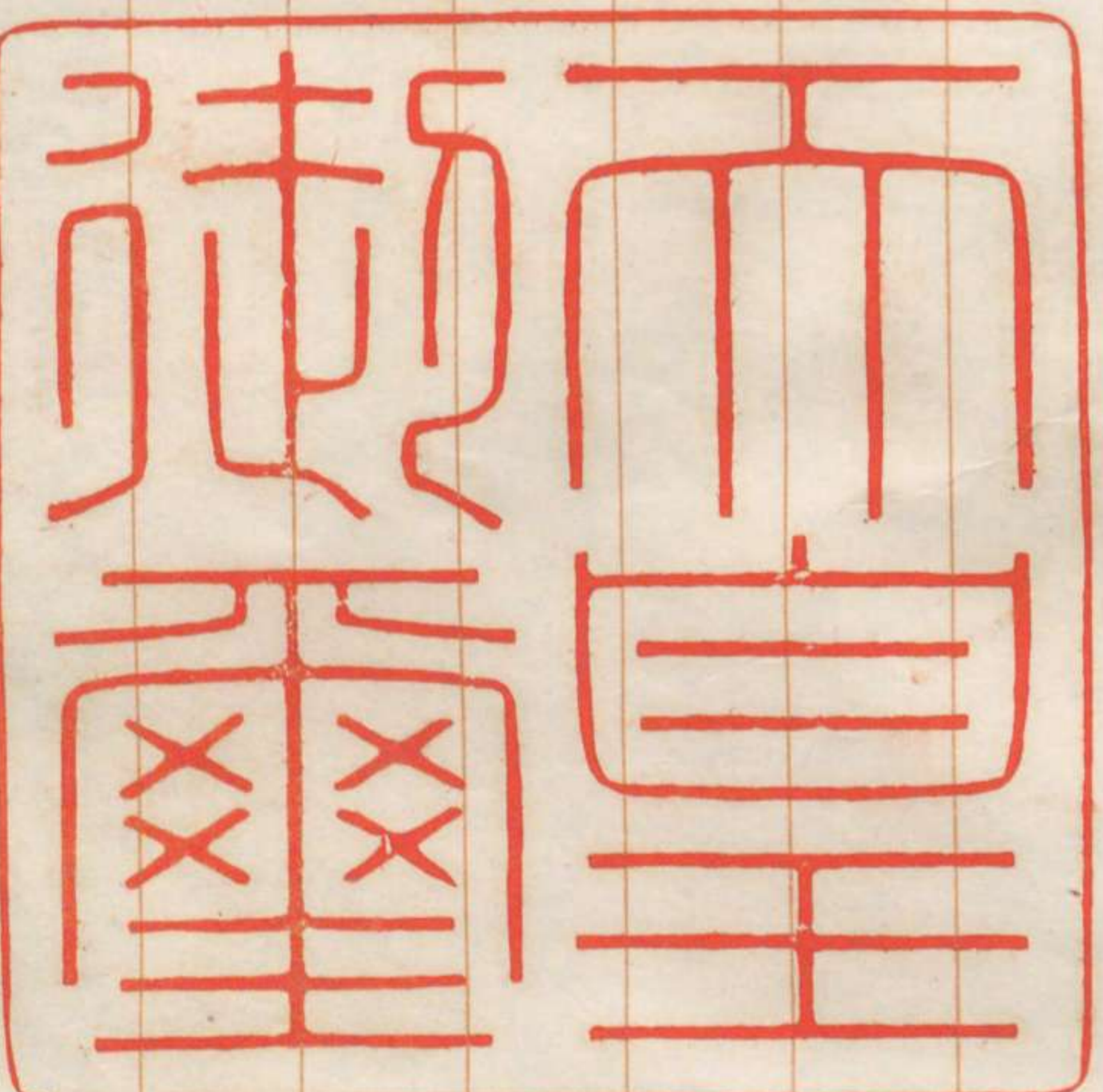


勅令第七十六號



朕陸軍砲工學校條例ヲ裁可シ茲ニ
之ヲ公布セシム

睦仁



明治二十二年五月三十一日

白

月

内閣總理大臣伯爵黒田清隆
陸軍大臣伯爵大山巖

勅令第七十六號

陸軍砲工學校條例

第一條 陸軍砲工學校ハ砲工兵中少尉

ニシテ二箇年以上隊務ニ服シ其勤務

ニ慣熟シタル者ヲ分遣シテ學生トナ

シ以テ各本科専門ノ勤務ニ必要ナル

學術ノ教育ヲ完全ナラシムルヲ以テ

目的トス

第二條 本校ニ厩ヲ置キ所要ノ馬匹ヲ

備フ

第三條 本校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長 砲兵若クハ工兵大佐 一人

次長 砲兵若クハ工兵中佐 一人

副官 砲兵若クハ工兵大尉一人 中尉二人

教官 參謀佐官若クハ大尉ノ内二人 砲兵科佐官若クハ大尉ノ内五人 兵科佐官若クハ大尉ノ内五人 騎兵大尉一人 陸軍教授 史陸軍校師之

厩長 騎兵科士官 一人

軍吏 一人

獸醫 一人

第四條 校長ハ砲兵監及工兵監ニ隸シ
テ校務ヲ總理シ學術進歩ノ責ニ任ス

第五條 次長ハ校長ヲ補佐シテ其事ニ
從フ

第六條 副官ハ庶務及器具圖書ノ事ヲ
分掌シ其下ニ砲工兵科下士若クハ陸
軍屬若干員ヲ置ク

第七條 教官ハ學術ノ教授ヲ擔任シ又
時トシテ翻譯ノ事ニ從ハシム

第八條 厩長ハ該厩一切ノ事ヲ統轄ス
其下ニ騎兵科下士若クハ陸軍屬若干
員ヲ置ク

第九條 軍吏ノ下ニ書記若干員ヲ置ク
第十條 學期ハ概テ十二月ニ始リ修學
期ヲ二箇年トス但疾病ノ故ヲ以テ缺
課多キ者ハ尚ホ滯學ヲ命スルコトア
ルヘシ

第十一條 學生ノ人員ハ其時々監軍之
ヲ定メ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十二條 學生分遣ノ告達アレハ近衛
都督師團長ハ入校期十日前提ニ其名簿
ニ考科表ヲ添ヘテ砲工學校長ニ送達

スヘシ

第十三條

ル事件

テ其俸給

校ニ交付

ス

第十四條

シテ各々

籍ノ外一切自辦タルヘシ但器具等ノ

内間々貸與スルモノアルヘシ



願届其他業務ニ關ス

長ノ管理ニ屬ス而シ

テ所管ヨリ毎月初メニ該

校ニ於テ之カ受渡ヲナ

學生ハ校外ニ居住セシム而

テ用品ハ授業ニ要スル書

第九條 軍吏ノ下ニ書記若干員ヲ置ク
第十條 學期ハ概テ十二月ニ始リ修學
期ヲ二箇年トス但疾病ノ故ヲ以テ缺
課多キ者ハ尚テ滯學ヲ命スルコトア
ルヘシ

第十一條 學生ノ員ハ其時々監軍之
ヲ定メ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十二條 學生ノ遣ノ告達アレハ近衛
都督師團ノ期十日前ニ其名簿
ニ考科表
砲工學校長ニ送達



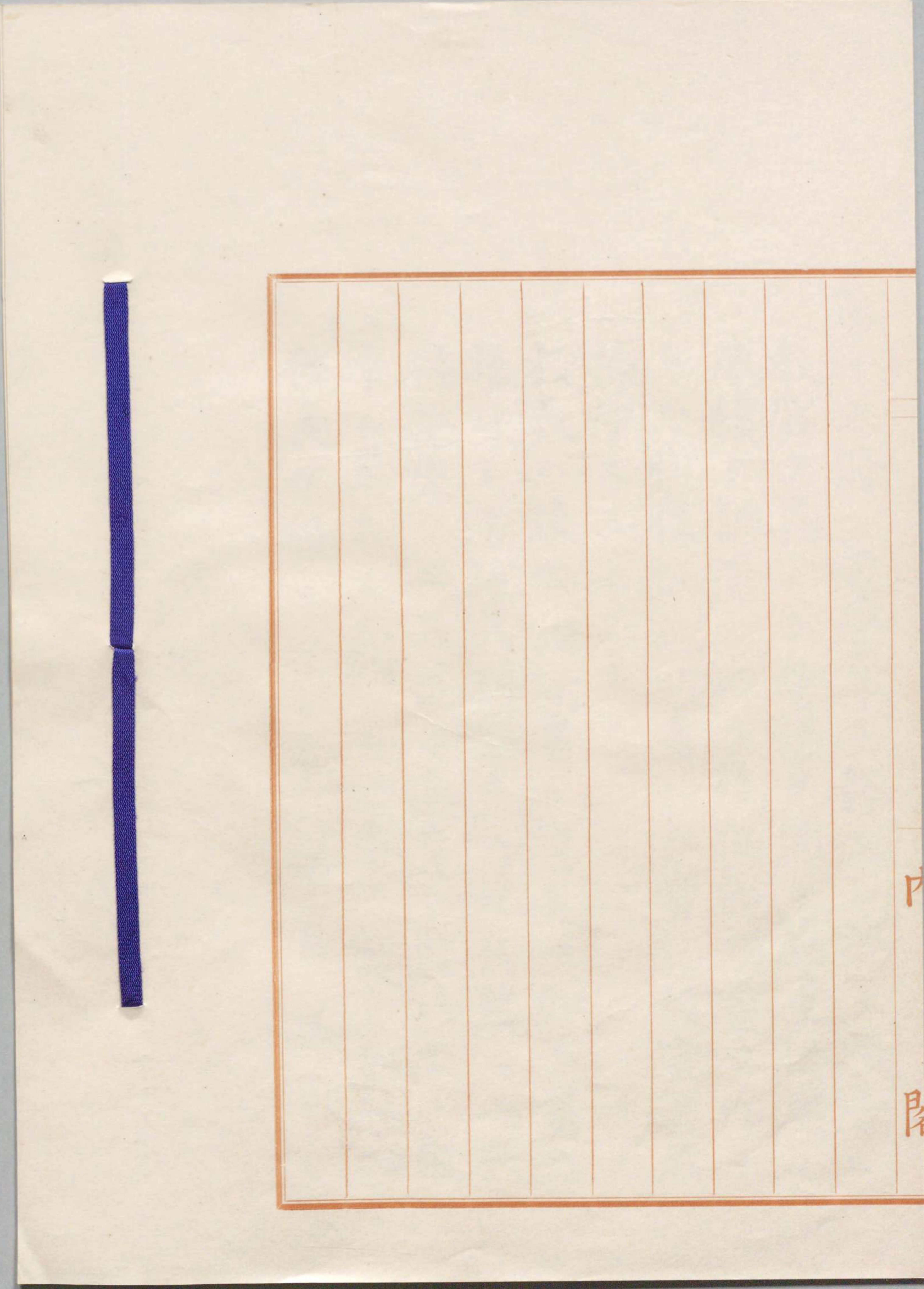
スヘシ

第十三條 學生ノ願屆其他業務ニ關ス
ル事件ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス而シ
テ其俸給ハ原所管ヨリ毎月初メニ該
校ニ交付シ同校ニ於テ之カ受渡ヲナ
ス

第十四條 學生ハ校外ニ居住セシム而
シテ各自ノ學用品ハ授業ニ要スル書
籍ノ外一切自辨タルヘシ但器具等ノ
内間々貸與スルモノアルヘシ

第十五條 每學年ノ終リニ於テ校長ハ
教官ヲ集メテ會議ヲ開キ學生修學ノ
成績ヲ調査シ以テ伎倆證明書ヲ作ラ
シム但伎倆證明書ニハ當該教官署名
捺印スルモノトス
校長ハ伎倆證明書ニ意見ヲ加ヘ署名
捺印シテ砲兵科學生ハ砲兵監ニ工兵
科學生ハ工兵監ニ進達シ監ハ之ヲ監
軍ニ呈ス又別ニ一本ヲ製シ都督師
團長ヲ經テ之ヲ本人所屬ノ隊長ニ交

付スヘシ



内

陽